

表 12 孫のための積み立て (割合：%)

	なし	あり								標本数
	死亡・不 詳含む	5千円未 満	5千-1万 未満	1-2万未 満	2-5万未 満	5-10万 未満	10-20万 未満	20-30万 未満	30万以 上	
関東	91.1	1.1	1.1	2.1	0.7	0.7	0.7	0.4	2.1	967
関西	90.2	1.1	2.0	1.5	0.9	1.7	0.9	0.4	1.3	499

関東と関西のまず第1の違いは何らかの経済的移転を行っている高齢者世帯は関西の方が多。それぞれの移転金額の規模については妻の親からの移転ではあまり違いはない。しかし夫の親からの移転では、関東の方が関西よりもばらつきが大きくなる傾向がある。孫のための積み立てで年額 30 万円以上の高額移転をしている人の割合は、関東では妻の親と夫の親は同じ割合なのに対して、関西では妻の親からの移転が夫の親からの移転より大きくなっている。

### 3) 高齢者が孫に対して行っている経済的移転 (高齢者が回答)

高齢者世帯が自ら答えた「孫への経済的移転」については、VIで明らかになったように、成人子が親から孫に移転されていると認識しているよりも多い。これは、本調査の高齢者世帯が4割近く孫と同居しているからかもしれない。しかし、移転を受ける側は妻が回答しているから、孫に対する移転すべてを把握しているとは限らず、特に夫の親から夫に対して孫への移転を名目として行われた移転の把握がすべて出来ているとは限らない。特に、孫のための積み立てでは、成人子(妻)の知らない孫のための貯蓄がある可能性を示唆している。地域差では、成人子へ聞いたときには関西の方がより孫のために高齢者は経済的な支援をしていることになっていたが、高齢者へ聞いた表 13~15 でわかるようにプレゼントと積み立てではわずかながら関東の方が援助が多い。関東の高齢者の平均所得が関西の高齢者のそれより高いことも影響しているものと考えられる。

表 13 孫へのプレゼント (割合：%)

	なし	あり								標本数
	死亡・不 詳含む	5千円未 満	5千-1万 満	1-2万未 満	2-5万未 満	5-10万未 満	10-20万未 満	20-30万未 満	30万以上	
関東	4.8	9.5	17.2	26.1	26.7	9.7	4.1	1.1	0.9	857
関西	5.2	10.3	17.8	24.3	28.1	10.3	3.4	0.5	-	555

表 14 孫へのこづかい (割合：%)

	なし	あり								標本数
	死亡・不 詳含む	5千円未 満	5千-1万 満	1-2万未 満	2-5万未 満	5-10万未 満	10-20万未 満	20-30万未 満	30万以上	
関東	8.8	16.8	20.0	20.5	18.9	9.5	3.7	1.1	0.8	857
関西	8.1	14.6	18.2	25.9	21.3	8.1	2.3	0.9	-	555

表 15 孫のための積み立て (割合：%)

	なし	あり								標本数
	死亡・不 詳含む	5千円未 満	5千-1万 満	1-2万未 満	2-5万未 満	5-10万未 満	10-20万未 満	20-30万未 満	30万以上	
関東	75.6	1.5	2.8	4.2	3.4	2.7	4.6	1.9	3.4	857
関西	77.8	2.5	4.9	5.0	1.8	2.2	2.5	1.1	2.2	555

### 8.5 経済的援助関係（成人子から親への移転）の違い

成人子世帯から祖父母世帯への経済的移転についてはVIにまとめられていたように、プレゼント以外の生活費の援助やレジャー費用、耐久消費財の購入の援助はほとんど行われていない。以下では最も行われていたプレゼントとあまり行われていなかったが援助されかたに特徴がみられた生活費の2つを見る。

#### 1) 妻の親に対する経済的援助

表 16 プレゼント費用

	なし	あり								標本数
	不詳含む	5千円未満	5千-1万未満	1-2万未満	2-5万未満	5-10万未満	10-20万未満	20-30万未満	30万以上	
関東	19.6	19.3	26.8	22.3	10.5	1.0	0.2	0.0	0.1	967
関西	19.4	16.4	28.5	23.2	10.6	1.6	0.2	0.0	0.0	499

表 17 生活費

	なし	あり								標本数
	不詳含む	5千円未満	5千-1万未満	1-2万未満	2-5万未満	5-10万未満	10-20万未満	20-30万未満	30万以上	
関東	95.4	0.4	0.4	0.4	0.6	0.5	0.6	0.5	1.0	967
関西	94.6	0.6	0.6	0.4	1.6	0.2	1.2	0.0	0.8	499

#### 2) 夫の親に対する経済的援助

表 18 プレゼント費用

	なし	あり								標本数
	死亡・不詳含む	5千円未満	5千-1万未満	1-2万未満	2-5万未満	5-10万未満	10-20万未満	20-30万未満	30万以上	
関東	28.2	16.5	23.9	21.0	8.9	1.0	0.3	0.0	0.1	967
関西	24.7	14.8	26.0	21.4	11.4	1.5	0.2	0.0	0.0	499

表 19 生活費

	なし	あり								標本数
	死亡・不詳含む	5千円未満	5千-1万未満	1-2万未満	2-5万未満	5-10万未満	10-20万未満	20-30万未満	30万以上	
関東	92.7	0.3	0.1	0.9	1.5	0.6	0.7	0.3	2.9	967
関西	92.1	0.2	0.9	0.4	1.3	0.9	0.9	0.7	2.6	499

地域差と言えるような傾向はほとんど見られなかった。共通して妻の親の方により経済的支援が行く傾向がある一方、生活費については、夫の親の方がより移転を受け取る機会が多い。

## 8.6 世話的援助関係（成人子から高齢者世帯へ）の違い

ここでは、世話的支援として「病気や怪我の時の看病」「悩み事の相談」の2つについてきいている。まず成人子（妻）に、自分の親と夫の親についてどの程度の世話的援助をしているかをたずねている。

Ⅲで概観したように、妻とその母親との関係が最も親密であり、妻と夫の父親との関係が最も疎遠であることに地域差は無い。すべての設問と組み合わせにおいて、「機会無し」と答えた人の割合は関東が関西を上回っている。また、「ほぼ毎日」と回答した人の割合も関西の方が関東よりも多くなっている。世話的支援は関東より関西の方がより頻繁に行われていると考えられる。

### 1) 「病気や怪我の時の看病」の違い

「どうしようも無いときだけ」に援助すると答えた消極的な援助の態度はどの組み合わせにおいても関東より関西の方が多かった。

表 20 妻（自分）の母親に対する世話的援助

	妻の母親への手助け：病気や怪我の看病（％）					標本数
	ほぼ毎回	2回に1回	どうしよ うもない 時だけ	機会なし	不詳	
関東	3.1	5.1	16.1	74.9	0.8	900
関西	6.3	6.7	16.3	70.0	0.7	447

表 21 妻（自分）の父親に対する世話的援助

	妻の父親への手助け：病気や怪我の看病（％）					標本数
	ほぼ毎回	2回に1回	どうしよ うもない 時だけ	機会なし	不詳	
関東	2.8	3.1	10.6	82.8	0.8	796
関西	4.4	1.5	11.3	81.7	1.0	389

表 22 夫の母親に対する世話的援助

	夫の母親への手助け：病気や怪我の看病（％）					標本数
	ほぼ毎回	2回に1回	どうしよ うもない 時だけ	機会なし	不詳	
関東	1.9	2.4	8.4	86.8	0.5	795
関西	2.7	3.4	11.5	81.6	0.7	407

表 23 夫の父親に対する世話的援助

	夫の父親への手助け：病気や怪我の看病（％）					標本数
	ほぼ毎回	2回に1回	どうしよ うもない 時だけ	機会なし	不詳	
関東	0.7	1.8	4.7	92.3	0.4	679
関西	0.8	1.7	7.6	89.6	0.3	355

## 2) 「悩み相談」に関する違い

相談に乗るという行為は、実際の援助行動より気軽にできることであり、妻及び夫の母親への相談はより頻繁に行われている。むしろ、父親と娘という異性の関係が影響してか、相談はどちらの父親についてもあまり頻繁に行われていない。それでも関東より関西の方が相談に乗る機会があったと応える者が多い。

表 24 妻（自分）の母親に対する相談

	妻の母親への手助け：悩み事相談					標本数
	ほぼ毎回	2回に1回	どうしよ うもない 時だけ	機会なし	不詳	
関東	9.4	15.8	27.4	47.2	0.1	900
関西	14.8	18.3	31.3	34.7	0.9	447

表 25 妻（自分）の父親に対する相談

	妻の父親への手助け：悩み事相談					標本数
	ほぼ毎回	2回に1回	どうしよ うもない 時だけ	機会なし	不詳	
関東	2.4	3.1	11.2	82.7	0.6	796
関西	3.3	4.4	12.3	79.4	0.5	389

表 26 夫の母親に対する相談

	夫の母親への手助け：悩み事相談					標本数
	ほぼ毎回	2回に1回	どうしよ うもない 時だけ	機会なし	不詳	
関東	2.6	2.8	14.5	79.7	0.4	795
関西	4.2	5.7	15.7	74.2	0.2	407

表 27 夫の父親に対する相談

	夫の父親への手助け：悩み事相談					標本数
	ほぼ毎回	2回に1回	どうしよ うもない 時だけ	機会なし	不詳	
関東	0.9	0.6	6.5	91.8	0.3	679
関西	1.7	1.7	5.6	90.7	0.3	355

## 8.7 世話的援助関係（高齢者世帯から孫世帯へ）の違い

孫のいる成人子世帯へ的高齢者の関わり方は、地域差がほとんど無い。あえていうなら、孫に関わる援助の機会が無かったとした者が関西の方が関東より若干多かった。

表 28 孫の身の回りの世話の頻度（祖母）

	孫の身の回りの世話							標本数
	ほぼ毎日	週3-4回	週1-2回	月1-2回	年に数回	なし	不詳	
関東	24.7	7.4	10.4	13.8	15.2	18.8	9.8	857
関西	24.0	7.7	9.7	13.7	14.2	19.5	11.2	555

表 29 孫の世話 (祖母)

	病気・急用時の孫の世話					標本数
	ほぼ毎回	2回に1回	どうし ようも ない時 だけ	機会 なし	不詳	
関東	27.2	7.0	37.5	20.2	8.2	857
関西	26.1	7.0	36.8	21.6	8.5	555

関東と関西という地域差が影響を及ぼす直接の原因は、世帯の経済状況の違いや老親と成人子の物理的距離の違い、などが考えられる。本調査で関東と関西の間には成人子世帯においても高齢者世帯においても所得格差があり、関西の方が経済力は低かったにもかかわらず、経済的支援を行う割合は関西の方が多くなっていた。しかし、世話的援助については、地域の違いは観察されなかった。

## 親子世帯間の援助の実態と意識に関する調査

## 0～6歳のお子さんをお持ちの方

平成16年1月

(調査実施) 親子世帯間の援助に関する研究会  
 (研究助成) 厚生労働省  
 (調査実施) 日本統計調査㈱

## \*\*\* 調査ご協力をお願い \*\*\*

21世紀、少子高齢社会の到来が家族員関係をさらに変化させていくだろうといわれています。この調査では、「親子」、「祖父母と孫」といった、世代をこえた親子関係における交流や援助の実態、および家族の関係に関する意識を中心におたずねしております。みなさまにおたずねしたこの調査の結果は、次世代育成のための政策の基本的な資料となります。

なお、この調査は無記名で行なわれ、回答はすべて統計的に処理されるため、個人が特定されることはありません。また、この調査票に記入した事項を統計以外の目的に使用したり、他人にもらしたりすることは絶対にありません。本調査の主旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

平成16年1月 親子世帯間の援助に関する研究会

## &lt;アンケート調査のご記入にあたって&gt;

- ① ボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- ② このアンケートは、夫婦のうち女性(宛名のご本人)がご記入ください。
- ③ このアンケートにお答えいただくときに、源泉徴収票や納税通知書などをお手元にご用意いただくと参考になります。
- ④ 質問番号順にお答えください。矢印(→)では、指示にしたがってお進みください。

誠に勝手ながら、平成16年1月26日(月)までに、返信用封筒に切手を貼らずにご投かんくださいますようお願い申し上げます。(封筒にお名前を書く必要もございません。)

問合せ先：日本統計調査 担当：江原  
 電話：0120-322-235

問1 世帯の人数とその内訳についておたずねします。(1)同一家屋内に居住している世帯員は、あなたを含めて全部で何人ですか。また、(2)その世帯員の内訳について、あてはまる番号にすべて○をつけ、世帯主には◎をつけてください。

<p>(1)世帯の人数</p> <p>あなたを含めて</p> <p>_____人</p>	<p>(2)同居している世帯員の内訳</p> <p>あてはまる番号すべてに○、世帯主には◎</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>1. あなた</td> <td>7. あなたの父</td> <td>13. その他の親族</td> </tr> <tr> <td>2. あなたの夫</td> <td>8. あなたの母</td> <td>14. その他</td> </tr> <tr> <td>3. あなたの子ども→( )人</td> <td>9. あなたの夫の父</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. あなたの子どもの配偶者→( )人</td> <td>10. あなたの夫の母</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. あなたの孫→( )人</td> <td>11. あなた又は夫の祖父</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. あなたの孫の配偶者→( )人</td> <td>12. あなた又は夫のきょうだい</td> <td></td> </tr> </table>	1. あなた	7. あなたの父	13. その他の親族	2. あなたの夫	8. あなたの母	14. その他	3. あなたの子ども→( )人	9. あなたの夫の父		4. あなたの子どもの配偶者→( )人	10. あなたの夫の母		5. あなたの孫→( )人	11. あなた又は夫の祖父		6. あなたの孫の配偶者→( )人	12. あなた又は夫のきょうだい	
1. あなた	7. あなたの父	13. その他の親族																	
2. あなたの夫	8. あなたの母	14. その他																	
3. あなたの子ども→( )人	9. あなたの夫の父																		
4. あなたの子どもの配偶者→( )人	10. あなたの夫の母																		
5. あなたの孫→( )人	11. あなた又は夫の祖父																		
6. あなたの孫の配偶者→( )人	12. あなた又は夫のきょうだい																		

問2 あなたの(1)出生年月、(2)現在の配偶関係について、あてはまる番号に○をつけ、下線の欄には数字をご記入ください。

<p>(1)あなたの出生年月</p> <p>[1. 昭和 2. 西暦]</p> <p>_____年_____月</p>	<p>(2)現在のあなたの配偶関係</p> <p>1. 有配偶である</p> <p>2. 離別して現在独身</p> <p>3. 死別して現在独身</p> <p>4. 未婚である</p> <p>問4へ</p>	<p>(3)あなたの夫の出生年月</p> <p>[1. 昭和 2. 西暦]</p> <p>_____年_____月</p>
---	---	---

問3 あなた方ご夫婦の(1)結婚年月、および(2)初再婚の別について、あてはまる番号に○をつけ、下線の欄には数字をご記入ください。

<p>(1)結婚年月</p> <p>[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦]</p> <p>_____年_____月</p>	<p>(2)初再婚の別</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>a. あなた→</p> <p>1. 初婚</p> <p>2. 再婚</p> </td> <td style="width: 50%;"> <p>b. 夫→</p> <p>1. 初婚</p> <p>2. 再婚</p> </td> </tr> </table>	<p>a. あなた→</p> <p>1. 初婚</p> <p>2. 再婚</p>	<p>b. 夫→</p> <p>1. 初婚</p> <p>2. 再婚</p>
<p>a. あなた→</p> <p>1. 初婚</p> <p>2. 再婚</p>	<p>b. 夫→</p> <p>1. 初婚</p> <p>2. 再婚</p>		

問4 次のa~gの項目について、あてはまる番号にそれぞれ一つだけ○をつけ、下線部分には数字をご記入ください。なお、夫がいらっしゃらない場合は、「あなた」の欄のみご記入ください。

質問項目	(1)あなた	(2)あなたの夫
a. 健康状態	1. 日常生活を1人でできる 2. 何らかの手助けが必要 3. その他( )	1. 日常生活を1人でできる 2. 何らかの手助けが必要 3. 病院や施設に長期入院・入所中 4. その他( )
b. 最後に卒業した学校	1. 中学校 2. 高校 3. 専修学校(専門学校) 4. 短大・高専 5. 大学・大学院 6. その他( )	1. 中学校 2. 高校 3. 専修学校(専門学校) 4. 短大・高専 5. 大学・大学院 6. その他( )
c. 兄弟姉妹数(生存している方に限る) ※いない欄には0を記入。同居していない方も含めます。	1. 兄 _____人    3. 弟 _____人 2. 姉 _____人    4. 妹 _____人	1. 兄 _____人    3. 弟 _____人 2. 姉 _____人    4. 妹 _____人
d. 従業上の地位	1. 民間の正規職員 2. 公的機関(官公庁など)の正規職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣・嘱託・非常勤 5. 自営業主・家族従業者・内職 6. 無職・家事 } 次のe~gは記入しない 7. 学生	1. 民間の正規職員 2. 公的機関(官公庁など)の正規職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣・嘱託・非常勤 5. 自営業主・家族従業者・内職 6. 無職・家事 } 次のe~gは記入しない 7. 学生
e. 一日の平均労働時間	一日あたり平均_____時間	一日あたり平均_____時間
f. 一週間の平均労働日数	一週あたり平均_____日	一週あたり平均_____日
g. 平均的な出勤時間・帰宅時間 ※出勤時間は家を出る時間をお答えください。	1. 出勤時間→[1.午前 2.午後] _____時_____分頃 2. 帰宅時間→[1.午前 2.午後] _____時_____分頃 3. 自宅で仕事をしている	1. 出勤時間→[1.午前 2.午後] _____時_____分頃 2. 帰宅時間→[1.午前 2.午後] _____時_____分頃 3. 自宅で仕事をしている

問5 あなたは、現在、お子さんを何人お持ちですか(亡くなったお子さんは含めません)。下線の欄に数字をご記入ください。

_____人
--------

問6 あなたのお子さん(現在、健在のお子さん)についておたずねします。第1子から順に(1)出生年月、(2)性別、(3)同別居状態、(4)お子さんの健康状態について、あてはまる番号に○をつけ、出生年月は下線の欄に数字をご記入ください。5人以上お子さんがいらっしゃる場合は、「d」欄には一番末のお子さんについてご記入ください。

出生順位	(1) 出生年月	(2) 性別	(3) 同別居	(4) 健康状態			
	1 2 昭 平 和 成	1 2 男 女	1 2 同 別 居 居	1 健康	2 アレルギー等の疾患を持っていて通院している	3 障害を持っている	4 長期入院中
a. 第1子	1 2 → ____年__月	1 2	1 2	1	2	3	4
b. 第2子	1 2 → ____年__月	1 2	1 2	1	2	3	4
c. 第3子	1 2 → ____年__月	1 2	1 2	1	2	3	4
d. 第4子または一番末のお子さん	1 2 → ____年__月	1 2	1 2	1	2	3	4

問7 あなたのお子さんについておたずねします。次のa~cの項目について、第1子から順に、あてはまる番号に○をつけてください。下線の欄には数字をご記入ください。

項目	(1) 第1子	(2) 第2子	(3) 第3子	(4) 第4子または一番末のお子さん
<b>a. 現在通学している園・学校</b> <small>※現在学生でないお子さんの欄は、最後に卒業した学校に○をつけてください。</small>	1. 未就学 2. 認可保育園 3. 認可外保育園(認証含む) 4. 幼稚園 5. 公立小学校 6. 私立・国立小学校 7. 公立中学校 8. 私立・国立中学校 9. 高校以上の学校	1. 未就学 2. 認可保育園 3. 認可外保育園(認証含む) 4. 幼稚園 5. 公立小学校 6. 私立・国立小学校 7. 公立中学校 8. 私立・国立中学校 9. 高校以上の学校	1. 未就学 2. 認可保育園 3. 認可外保育園(認証含む) 4. 幼稚園 5. 公立小学校 6. 私立・国立小学校 7. 公立中学校 8. 私立・国立中学校 9. 高校以上の学校	1. 未就学 2. 認可保育園 3. 認可外保育園(認証含む) 4. 幼稚園 5. 公立小学校 6. 私立・国立小学校 7. 公立中学校 8. 私立・国立中学校 9. 高校以上の学校
<b>b. 園・学校の費用</b> <small>※現在、園・学校に通っているお子さんの欄のみご記入ください。</small>	1ヶ月あたり 約 _____ 円	1ヶ月あたり 約 _____ 円	1ヶ月あたり 約 _____ 円	1ヶ月あたり 約 _____ 円
<b>c. 小学校卒業までの間に利用した施設・制度</b> <small>※あてはまる番号すべてに○をつけてください。</small>	1. 認可保育園 2. 認可外保育園(認証含む) 3. 幼稚園 4. 個人家庭保育、ベビーシッター 5. 企業内保育所 6. 産前産後休暇制度 7. 育児休業制度 8. 学童保育室 9. その他 ( ) 10. どれも利用していない	1. 認可保育園 2. 認可外保育園(認証含む) 3. 幼稚園 4. 個人家庭保育、ベビーシッター 5. 企業内保育所 6. 産前産後休暇制度 7. 育児休業制度 8. 学童保育室 9. その他 ( ) 10. どれも利用していない	1. 認可保育園 2. 認可外保育園(認証含む) 3. 幼稚園 4. 個人家庭保育、ベビーシッター 5. 企業内保育所 6. 産前産後休暇制度 7. 育児休業制度 8. 学童保育室 9. その他 ( ) 10. どれも利用していない	1. 認可保育園 2. 認可外保育園(認証含む) 3. 幼稚園 4. 個人家庭保育、ベビーシッター 5. 企業内保育所 6. 産前産後休暇制度 7. 育児休業制度 8. 学童保育室 9. その他 ( ) 10. どれも利用していない

問8 あなたのお子さんが習い事(学習塾・語学教室を除く)に通っている状況と一ヶ月あたりの費用についておたずねします。第1子から順に、a、bの項目について、あてはまる番号に○をつけ、費用については下線の欄に数字をご記入ください。

項目	(1)第1子	(2)第2子	(3)第3子	(4)第4子または一番末のお子さん
a. 現在通っている 習い事 ※あてはまる番号 すべてに○	1. 何も習っていない 2. 水泳 3. わか、野球などのスポーツ 4. 習字 5. そろばん 6. ピアノ・エレクトーンなど音楽教室 7. 体操 8. 絵画・工作 9. 剣道、柔道などの武道 10. バレエなどダンス 11. その他( )	1. 何も習っていない 2. 水泳 3. わか、野球などのスポーツ 4. 習字 5. そろばん 6. ピアノ・エレクトーンなど音楽教室 7. 体操 8. 絵画・工作 9. 剣道、柔道などの武道 10. バレエなどダンス 11. その他( )	1. 何も習っていない 2. 水泳 3. わか、野球などのスポーツ 4. 習字 5. そろばん 6. ピアノ・エレクトーンなど音楽教室 7. 体操 8. 絵画・工作 9. 剣道、柔道などの武道 10. バレエなどダンス 11. その他( )	1. 何も習っていない 2. 水泳 3. わか、野球などのスポーツ 4. 習字 5. そろばん 6. ピアノ・エレクトーンなど音楽教室 7. 体操 8. 絵画・工作 9. 剣道、柔道などの武道 10. バレエなどダンス 11. その他( )
b. 習い事の費用 ※習っていない場合 0を記入	一ヶ月約_____円	一ヶ月約_____円	一ヶ月約_____円	一ヶ月約_____円

問9 あなたのお子さんの学習塾等の通塾状況と一ヶ月あたりの費用についておたずねします。第1子から順に、a、bの項目について、あてはまる番号に○をつけ、費用については下線の欄に数字をご記入ください。

項目	(1)第1子	(2)第2子	(3)第3子	(4)第4子または一番末のお子さん
a. 現在通っている 学習塾等	1. 英会話などの語学教室 2. 数や文字を教える知育・学習教室 3. 受験対策の学習塾、予備校 4. 補習塾 5. 家庭教師 6. その他( ) 7. 上記のどれにも通っていない	1. 英会話などの語学教室 2. 数や文字を教える知育・学習教室 3. 受験対策の学習塾、予備校 4. 補習塾 5. 家庭教師 6. その他( ) 7. 上記のどれにも通っていない	1. 英会話などの語学教室 2. 数や文字を教える知育・学習教室 3. 受験対策の学習塾、予備校 4. 補習塾 5. 家庭教師 6. その他( ) 7. 上記のどれにも通っていない	1. 英会話などの語学教室 2. 数や文字を教える知育・学習教室 3. 受験対策の学習塾、予備校 4. 補習塾 5. 家庭教師 6. その他( ) 7. 上記のどれにも通っていない
b. 学習塾等の費用 ※習っていない場合 0を記入	一ヶ月約_____円	一ヶ月約_____円	一ヶ月約_____円	一ヶ月約_____円

問10 あなた(とあなたの夫)にとって、(1)理想的な子ども数は何人ですか。また、理想は理想として、(2)実際持つつもりの子どもの数(予定子ども数)は何人ですか。下線の欄に数字をご記入ください。

(1)理想的な子ども数	(2)実際持つつもりの子どもの数(予定子ども数)
_____人	_____人

問11 あなたとあなたの夫のきょうだいの子ども(甥、姪)についておたずねします。下線の欄に甥、姪の合計人数をご記入ください。なお、夫がいらっしゃらない場合は(2)欄は記入しないで結構です。

(1)あなたのきょうだいの子ども	(2)夫のきょうだいの子ども
※いない場合は0を記入 全部で_____人	※いない場合は0を記入 全部で_____人

問12 あなた方ご夫婦のご両親についておたずねします。次のa～iの項目について、あてはまる番号にそれぞれ○をつけ、下線の部分には数字をご記入ください。すでに亡くなっている方については、「a. 生死の別」の記入のみで結構です。

項目	(1) あなたの父親	(2) あなたの母親	(3) あなたの夫の父親	(4) あなたの夫の母親
a. 生死の別	1. 健在 2. 死亡	1. 健在 2. 死亡	1. 健在 2. 死亡	1. 健在 2. 死亡
b. 現在の年齢	満_____歳	満_____歳	満_____歳	満_____歳
c. 最後に卒業した学校	1. 小学校 2. 中学校/高等小学校 3. 高校/旧制中学校 4. 専修学校(専門学校) 5. 短大・高専/旧制高等学校 6. 大学・大学院 7. その他( )	1. 小学校 2. 中学校/高等小学校 3. 高校/高等女学校 4. 専修学校(専門学校) 5. 短大・高専/旧制高等学校 6. 大学・大学院 7. その他( )	1. 小学校 2. 中学校/高等小学校 3. 高校/旧制中学校 4. 専修学校(専門学校) 5. 短大・高専/旧制高等学校 6. 大学・大学院 7. その他( )	1. 小学校 2. 中学校/高等小学校 3. 高校/高等女学校 4. 専修学校(専門学校) 5. 短大・高専/旧制高等学校 6. 大学・大学院 7. その他( )
d. 健康状態	1. 日常生活を1人でできる 2. 何らかの手助けが必要 3. 介護が必要 4. 病院へ短期入院中 5. 病院へ長期入院中 6. 施設へ入所中 7. その他( )	1. 日常生活を1人でできる 2. 何らかの手助けが必要 3. 介護が必要 4. 病院へ短期入院中 5. 病院へ長期入院中 6. 施設へ入所中 7. その他( )	1. 日常生活を1人でできる 2. 何らかの手助けが必要 3. 介護が必要 4. 病院へ短期入院中 5. 病院へ長期入院中 6. 施設へ入所中 7. その他( )	1. 日常生活を1人でできる 2. 何らかの手助けが必要 3. 介護が必要 4. 病院へ短期入院中 5. 病院へ長期入院中 6. 施設へ入所中 7. その他( )
e. 住宅の種類	1. 持ち家(一戸建て) 2. 持ち家(集合住宅) 3. 公営借家(公団、県営等) 4. 民間借家(マンション・アパート等) 5. 給与住宅(社宅など) 6. その他( )	1. 持ち家(一戸建て) 2. 持ち家(集合住宅) 3. 公営借家(公団、県営等) 4. 民間借家(マンション・アパート等) 5. 給与住宅(社宅など) 6. その他( )	1. 持ち家(一戸建て) 2. 持ち家(集合住宅) 3. 公営借家(公団、県営等) 4. 民間借家(マンション・アパート等) 5. 給与住宅(社宅など) 6. その他( )	1. 持ち家(一戸建て) 2. 持ち家(集合住宅) 3. 公営借家(公団、県営等) 4. 民間借家(マンション・アパート等) 5. 給与住宅(社宅など) 6. その他( )
f. 居住形態	1. あなたと同居 2. 単身で生活 3. 夫婦のみで生活 4. あなたのきょうだいと同居(孫あり) 5. あなたのきょうだいと同居(孫なし) 6. その他( )	1. あなたと同居 2. 単身で生活 3. 夫婦のみで生活 4. あなたのきょうだいと同居(孫あり) 5. あなたのきょうだいと同居(孫なし) 6. その他( )	1. あなたと同居 2. 単身で生活 3. 夫婦のみで生活 4. 夫のきょうだいと同居(孫あり) 5. 夫のきょうだいと同居(孫なし) 6. その他( )	1. あなたと同居 2. 単身で生活 3. 夫婦のみで生活 4. 夫のきょうだいと同居(孫あり) 5. 夫のきょうだいと同居(孫なし) 6. その他( )
g. 昨年1年間のおよその収入(税込み)	1. なし 2. 100万円未満 3. 100～299万円 4. 300～499万円 5. 500～699万円 6. 700～899万円 7. 900～1099万円 8. 1100万円以上 9. わからない	1. なし 2. 100万円未満 3. 100～299万円 4. 300～499万円 5. 500～699万円 6. 700～899万円 7. 900～1099万円 8. 1100万円以上 9. わからない	1. なし 2. 100万円未満 3. 100～299万円 4. 300～499万円 5. 500～699万円 6. 700～899万円 7. 900～1099万円 8. 1100万円以上 9. わからない	1. なし 2. 100万円未満 3. 100～299万円 4. 300～499万円 5. 500～699万円 6. 700～899万円 7. 900～1099万円 8. 1100万円以上 9. わからない
h. あなたのお住まいとの距離	1. 同居 2. 同じ敷地内に別居 3. 15分未満 4. 15～30分未満 5. 30～60分未満 6. 1～2時間未満 7. 2～3時間未満 8. 3時間以上	1. 同居 2. 同じ敷地内に別居 3. 15分未満 4. 15～30分未満 5. 30～60分未満 6. 1～2時間未満 7. 2～3時間未満 8. 3時間以上	1. 同居 2. 同じ敷地内に別居 3. 15分未満 4. 15～30分未満 5. 30～60分未満 6. 1～2時間未満 7. 2～3時間未満 8. 3時間以上	1. 同居 2. 同じ敷地内に別居 3. 15分未満 4. 15～30分未満 5. 30～60分未満 6. 1～2時間未満 7. 2～3時間未満 8. 3時間以上
i. 電話やメールで連絡をとったり、会ったりする頻度 ※別居している方のみお答えください。	1. 毎日 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月1～2回 5. 年に数回 6. ほとんど連絡しない	1. 毎日 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月1～2回 5. 年に数回 6. ほとんど連絡しない	1. 毎日 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月1～2回 5. 年に数回 6. ほとんど連絡しない	1. 毎日 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月1～2回 5. 年に数回 6. ほとんど連絡しない

問13 あなた（とあなたの夫）は、この一年間に次のような手助けをどのくらい親から受けましたか。あてはまる番号に一つずつ〇をつけてください。なお、すでに亡くなっている方については記入しないで結構です。

対象者	手助けの内容	1	2	3	4	5	6
		ほぼ毎日	週に3〜4回	週に1〜2回	月に1〜2回	年に数回	なし
a. あなたの母親からの援助	1. 子どもの身の回りの世話	1	2	3	4	5	6
	2. 子どもの保育園・幼稚園・学童保育所の送り迎え	1	2	3	4	5	6
	3. あなた宅の家事手伝い	1	2	3	4	5	6
b. あなたの父親からの援助	1. 子どもの身の回りの世話	1	2	3	4	5	6
	2. 子どもの保育園・幼稚園・学童保育所の送り迎え	1	2	3	4	5	6
	3. あなた宅の家事手伝い	1	2	3	4	5	6
c. 夫の母親からの援助	1. 子どもの身の回りの世話	1	2	3	4	5	6
	2. 子どもの保育園・幼稚園・学童保育所の送り迎え	1	2	3	4	5	6
	3. あなた宅の家事手伝い	1	2	3	4	5	6
d. 夫の父親からの援助	1. 子どもの身の回りの世話	1	2	3	4	5	6
	2. 子どもの保育園・幼稚園・学童保育所の送り迎え	1	2	3	4	5	6
	3. あなた宅の家事手伝い	1	2	3	4	5	6

対象者	手助けの内容	1	2	3	4
		ほぼ毎回	2回に1回くらい	どうしてももない時だけ	そのような機会はなかった
e. あなたの母親からの援助	1. あなた方ご夫婦が病気または急用ができた時のお子さんの世話	1	2	3	4
	2. 子どもに関する悩み事の相談にのる	1	2	3	4
f. あなたの父親からの援助	1. あなた方ご夫婦が病気または急用ができた時のお子さんの世話	1	2	3	4
	2. 子どもに関する悩み事の相談にのる	1	2	3	4
g. 夫の母親からの援助	1. あなた方ご夫婦が病気または急用ができた時のお子さんの世話	1	2	3	4
	2. 子どもに関する悩み事の相談にのる	1	2	3	4
h. 夫の父親からの援助	1. あなた方ご夫婦が病気または急用ができた時のお子さんの世話	1	2	3	4
	2. 子どもに関する悩み事の相談にのる	1	2	3	4

問14 あなたのお子さんに対する、ご両親からの経済的援助についておたずねします。この一年間に、次の1～8のことがらに対して、ご両親からどのくらいお金を出してもらいましたか。あてはまる番号に一つずつ○をつけてください。

対象	項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
		なし	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～2万円未満	2万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円～20万円未満	20万円～30万円未満	30万円以上	二人とも亡くなっている	
a. あなたの親からの援助	1. あなた宅の旅行や日帰りレジャーの費用(おこづかい含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	2. あなた宅の生活費の補助(家賃補助、税金支払、借金返済含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	3. あなた宅の家電製品、車など耐久消費財の購入費用	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	【以下は、お子さん全員の合計額をお答えください。】											
	4. お子さんの保育料、幼稚園月謝、学費	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	5. お子さんの習い事や塾の費用	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	6. お子さんのための積み立て(学資保険や孫名義の預貯金など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	7. お子さんへのプレゼント(誕生日、クリスマス、衣類等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
8. お子さんへのこづかい(お年玉やお祝いを含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
b. 夫の親からの援助	1. あなた宅の旅行や日帰りレジャーの費用(おこづかい含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	2. あなた宅の生活費の補助(家賃補助、税金支払、借金返済含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	3. あなた宅の家電製品、車など耐久消費財の購入費用	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	【以下は、お子さん全員の合計額をお答えください。】											
	4. お子さんの保育料、幼稚園月謝、学費	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	5. お子さんの習い事や塾の費用	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	6. お子さんのための積み立て(学資保険や孫名義の預貯金など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	7. お子さんへのプレゼント(誕生日、クリスマス、衣類等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
8. お子さんへのこづかい(お年玉やお祝いを含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9			

問15 あなたとあなたのご両親に対する支援についておたずねします。あなた(とあなたのご両親)は、この一年間に身の回りの世話に関する手助けをご両親に行いましたか。あてはまる番号に一つずつ○をつけてください。なお、すでに亡くなっている方については記入しないで結構です。

対象	手助けの内容	1	2	3	4	5	6	7
		ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	年に数回	なし	2人とも亡くなっている
a. あなたの親に対して	身の回りの世話(家事を含む)	1	2	3	4	5	6	7
b. あなたの夫の親に対して	身の回りの世話(家事を含む)	1	2	3	4	5	6	7

問16 あなたとあなたの夫のご両親に対する支援についておたずねします。あなた(とあなたの夫)は、この一年間に、次のような手助けをご両親に行いましたか。あてはまる番号に一つずつ○をつけてください。なお、すでに亡くなっている方については記入しないで結構です。

対象	手助けの内容	1	2	3	4	
		ほぼ毎回	1回くらい	2回に1回くらい	時だけ	どうしようもない
a. あなたの母親に対して	1. 病気や怪我のときの看病	1	2	3	4	
	2. 悩み事の相談にのる	1	2	3	4	
b. あなたの父親に対して	1. 病気や怪我のときの看病	1	2	3	4	
	2. 悩み事の相談にのる	1	2	3	4	
c. あなたの夫の母親に対して	1. 病気や怪我のときの看病	1	2	3	4	
	2. 悩み事の相談にのる	1	2	3	4	
d. あなたの夫の父親に対して	1. 病気や怪我のときの看病	1	2	3	4	
	2. 悩み事の相談にのる	1	2	3	4	

問17 あなた(とあなたの夫)からご両親への経済的援助についておたずねします。あなたと夫は、この一年間に、次の1~4のこととがらに対して、どのくらいお金を使いましたか。あてはまる番号に一つずつ○をつけてください。

対象	項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		なし	5千円未満	5千円~1万円未満	1万円~2万円未満	2万円~5万円未満	5万円~10万円未満	10万円~20万円未満	20万円~30万円未満	30万円以上	2人とも亡くなっている
a. あなたの親への援助	1. 旅行や日帰りレジャーの費用(おこづかい含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	2. 生活費の補助(家賃補助、税金支払、借金返済含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	3. 家電製品、車など耐久消費財の購入費用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	4. プレゼント(誕生日、クリスマス等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
b. 夫の親への援助	1. 旅行や日帰りレジャーの費用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	2. 生活費の補助(家賃補助、税金支払、借金返済含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	3. 家電製品、車など耐久消費財の購入費用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	4. プレゼント(誕生日、クリスマス等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

問18 あなたの夫は、次のa～hにあげる家事や子どもの世話をどのくらいしていますか。あてはまる番号に、それぞれ一つずつ○をつけてください。なお、夫がいらっしやらない場合は、記入しないで結構です。

家事・子どもの世話の種類	1 たいてい する	2 2回に1回 程度する	3 ときどき する	4 まったく しない
a. 家の掃除	1	2	3	4
b. 洗濯	1	2	3	4
c. 夕食の用意	1	2	3	4
d. 買物（日用品や食料品）	1	2	3	4
e. 子どもの食事の世話	1	2	3	4
f. 子どもの送り迎え	1	2	3	4
g. 子どもの遊び相手	1	2	3	4
h. 子どもを風呂に入れる	1	2	3	4

問19 あなたは、次のa～jの家族に関する考え方について、どう思いますか。あてはまる番号に一つずつ○をつけてください。

家族に関する考え方	1 賛成	2 い え ば 賛 成 ど ち ら か と	3 い え ば 反 対 ど ち ら か と	4 反 対
a. 結婚後は、夫は外で働き、妻は家事・育児に専念すべきだ	1	2	3	4
b. 夫や妻は、自分たちのことを犠牲にしても子どものことを優先すべきだ	1	2	3	4
c. 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たずに育児に専念すべきだ	1	2	3	4
d. 夫も家事や育児を妻と平等に分担すべきだ	1	2	3	4
e. 結婚した子どもは、どんなことがあっても親に頼らず生計をたてるべきだ	1	2	3	4
f. 子どもが育児に疲れたり困ったりしている時は、親が積極的に手助けすべきだ	1	2	3	4
g. 年をとった親は、子ども夫婦と一緒に暮らすべきだ	1	2	3	4
h. 年老いた親の介護は、家族が担うべきだ	1	2	3	4
i. 高齢者への経済的援助は、公的機関より家族が行うべきだ	1	2	3	4
j. 子育てへの経済的援助は、公的機関より家族が行うべきだ	1	2	3	4

問20 あなたが、現在お住まいになっている住宅は、次のどれにあたりますか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

現在の住居の種類	
1. あなたの親の家	6. 親の援助なしで取得した自分(達)の家
2. あなたの夫の親の家	7. 親の援助がある賃貸住宅
3. あなたの親の土地に建てた自分(達)の家	8. 親の援助がない賃貸住宅
4. あなたの夫の親の土地に建てた自分(達)の家	9. その他 ( )
5. 親の援助で取得した自分(達)の家	

問21 現在の住宅に住まわれて何年になりますか。下線の欄に数字をご記入ください。

1. 住み始めて1年未満の方 → _____ヶ月
2. 住み始めて1年以上の方 → _____年

【現在、持ち家(一戸建て・マンション)をお持ちの方は問22へ、それ以外の方は問25へお進みください。】

問22 あなたの住宅に対して、昨年、土地と建物にいくらの固定資産税を支払いましたか。下線の欄に数字をご記入ください。

(1)土地の固定資産税額	(2)建物の固定資産税額
約_____万円	約_____万円
※支払っていない場合は0を記入	※支払っていない場合は0を記入

問23 あなた(とあなたの夫)は、(1)住宅ローンを支払っていますか(支払っていましたか)。現在支払っている方は、住宅ローンの(2)毎月返済額、(3)ボーナス時返済額はどれくらいですか。あてはまる番号にそれぞれ一つずつ○をつけてください。

(1)住宅ローン支払の有無	(2)毎月の返済額	(3)ボーナス時の返済額
1. 現在支払っている	1. 5万円未満	1. なし
2. 過去に支払っていた	2. 5万～10万円未満	2. 10万円未満
3. 支払っていない	3. 10万～15万円未満	3. 10万～20万円未満
} 問24へ	4. 15万～20万円未満	4. 20万～30万円未満
	5. 20万円以上	5. 30万～40万円未満
		6. 40万円以上

問24 あなたのお宅では、現在の持ち家を購入する際、いくらの頭金を用意しましたか(親からの援助分も含めます)。下線の欄に数字をご記入ください。

約_____万円
----------

問25 あなたの世帯の収入についておたずねします。あなた、あなたの夫、それ以外の世帯員について、昨年一年間の総収入(税込み)を下線の欄に数字でご記入ください。ない場合は0をご記入ください。なお、夫やそれ以外の世帯員について、いらっしゃらない場合は記入しないで結構です。

(1)あなた	(2)あなたの夫	(3)それ以外の世帯員
約_____万円	約_____万円	約_____万円
※ない場合は0を記入	※ない場合は0を記入	※ない場合は0を記入

問26 あなたの世帯の支出についておたずねします。昨年一年間における、1ヶ月あたりの平均支出額を下線の欄に数字でご記入ください。

<b>あなたの世帯の一ヶ月あたり平均支出額</b>
1ヶ月あたり
約_____万円

※生活費には、次のものを含まず。  
 食費、家賃、光熱水道費、被服費、耐久消費財購入費、  
 交通・通信費、保険・医療費、教養娯楽・交際費

問27 あなた(とあなたの夫)は、(1) a～dの資産をお持ちですか。あてはまる番号に○をつけてください。お持ちの資産については、(2)その額について、およその金額を下線の欄にご記入ください。また、(3)それらの資産の継承の有無についても、あてはまる番号に○をつけてください。

資産の種類	(1)資産の有無	(2)額	(3)継承の有無 ※複数回答可
a. 預貯金、郵便貯金	1. 持っている → 2. 持っていない	全部で約 _____ 万円	1. あなたの親から継承 2. 夫の親から継承 3. 親以外の親族から継承 4. あなた(とあなたの夫)だけで取得
b. 土地 ※あなたの住宅用の土地	1. 持っている → 2. 持っていない	購入価格 約 _____ 万円	1. あなたの親から継承 2. 夫の親から継承 3. 親以外の親族から継承 4. あなた(とあなたの夫)だけで取得
c. 建物(マンション含む) ※あなたの住宅用の建物	1. 持っている → 2. 持っていない	購入価格 約 _____ 万円	1. あなたの親から継承 2. 夫の親から継承 3. 親以外の親族から継承 4. あなた(とあなたの夫)だけで取得
d. その他 ※ゴルフ会員権、貴金属、書画、骨董など	1. 持っている 2. 持っていない	/	1. あなたの親から継承 2. 夫の親から継承 3. 親以外の親族から継承 4. あなた(とあなたの夫)だけで取得

問28 資産の継承についておたずねします。あなたは、資産をお子さんに残すことについて、どのようにしたいとお考えですか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 資産を子どもに残すつもりはない<br>2. どの子どもにも均等に資産を残したい<br>3. 子どもが1人しかいないので、その子に全部または大部分の資産を残したい<br>4. 親の老後の面倒を見てくれた子どもに全部または大部分の資産を残したい<br>5. 長男(長女)に全部または大部分の資産を残したい<br>6. 経済的に苦しい子どもに全部または大部分の資産を残したい<br>7. その他 ( ) |
|---|

問29 あなた(とあなたの夫)は、今まで、(1)親から一回50万円以上の現金贈与を受けたことがありますか。ある方は、(2)金額の多い順に最大3件までの贈与について、贈与された時期、贈与者、贈与の目的、贈与額をお答えください。

(1)一回50万円以上の贈与受け取り経験有無	(2)贈与された時期、贈与者、目的、額(金額の多い順に、最大3件まで)			
	a. 贈与された時期	b. 贈与者	c. 贈与の目的	d. 贈与額
1. ある →	1件目 [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年	1. あなたの親 2. 夫の親	1. 結婚資金(お祝い含む) 2. 住宅資金 3. 孫の教育資金 4. 車の購入資金 5. その他 ( )	約 _____ 万円
2. ない ↓	2件目 [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年	1. あなたの親 2. 夫の親	1. 結婚資金(お祝い含む) 2. 住宅資金 3. 孫の教育資金 4. 車の購入資金 5. その他 ( )	約 _____ 万円
問30へ	3件目 [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年	1. あなたの親 2. 夫の親	1. 結婚資金(お祝い含む) 2. 住宅資金 3. 孫の教育資金 4. 車の購入資金 5. その他 ( )	約 _____ 万円

問30 あなたのお宅では、金融機関からの融資に関して、最近1年間に以下のことを経験しましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 金融機関に借入れを申し込み、そのすべてについて融資を受けることができた |
| 2. 金融機関に借入れを申し込みようと考えたが、無理だろうと思って断念した  |
| 3. 金融機関に借入れを申し込んだが、融資を断られた             |
| 4. 最近1年間に借入れの必要は生じなかった                 |

問31 下に挙げるa～iの人は、あなたにとって「家族の一員」といえると思いますか。あてはまる番号に一つずつ○をつけてください。

対象者 ↓	1	2	3
	同居・別居にかかわらず 家族である	同居していれば 家族である	同居していても 家族とはいえない
a. あなたの親	1	2	3
b. 夫の親	1	2	3
c. 20歳以上の未婚の子ども	1	2	3
d. 結婚している息子	1	2	3
e. 結婚している娘	1	2	3
f. 息子の妻	1	2	3
g. 娘の夫	1	2	3
h. 息子の子ども	1	2	3
i. 娘の子ども	1	2	3

問32 最後に、あなたのご住所をご記入ください。(ただし、丁目・番地以降は不要です。)  
(今回、無記名で行っておりますが、エリアによる分類をおこなうために、ご記入ください。)

	都・道 府・県		市・区 町・村		(丁目・番地は不要です。)
(記入例)					
大阪	都・道 府 県	大阪	市 区 町・村	北区 東天満	(丁目・番地は不要です。)

以上で質問は終わりです。長時間ご協力いただき、誠にありがとうございました。  
ご回答いただいた調査票は、返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストへ投函してください。  
誠に勝手ながら、平成16年1月26日(月)までにご返送くださいますよう、お願い申し上げます。

## 6. 研究活動報告

## 「社会保障における少子化対策の位置づけに関する研究」の活動状況

### 平成 15 年度 活動報告

平成 15 年 7 月 22 日	第 1 回調査票案検討会実施
平成 15 年 9 月 16 日	調査項目案集約（電子メールによる集約）
平成 15 年 9 月 17 日	「第 1 回家庭動向調査（1993 年）」磁気媒体等使用願承認
平成 15 年 10 月 2 日	調査委託先選定に関する検討 助言者；鈴木亘氏（大阪大学）
平成 15 年 10 月 14 日	第 2 回調査票案検討会実施
平成 15 年 10 月 23 日	調査票第 1 案をもとにプレテスト実施
平成 15 年 11 月 5 日	プレテスト結果を踏まえた調査票案の改訂検討
平成 15 年 11 月 11 日	調査委託先決定（パネルデータを整備している 4 社調査会社に相見積を請求して検討後）
平成 15 年 12 月	調査委託先にてスクリーニング開始
平成 16 年 1 月 28 日	高齢者調査終了

### 平成 16 年度 活動報告

平成 16 年 4 月	成人子調査終了
平成 16 年 5 月 12 日	研究交流会（平成 16 年度研究計画報告）
平成 16 年 6 月～9 月	成人子調査のデータクリーニング及びクロス表の作成を分担して実施
平成 16 年 11 月 26 日	ワークショップ「子育て世帯の社会保障」開催
平成 17 年 1 月 18 日	親子世帯間の援助に関する研究会
平成 17 年 2 月 28 日	政策科学推進研究 中間・事後評価委員会ヒヤリングにて発表
平成 17 年 3 月 24 日	まとめ報告研究会

〔資料〕

ワークショップ：『子育て世帯の社会保障』

日時：平成16年11月26日（金）14：00～18：00

主催：国立社会保障・人口問題研究所 平成16年度研究叢書企画担当

場所：国立社会保障・人口問題研究所 第4会議室

司会：勝又幸子（企画部 第3室長）

討論者：山崎泰彦先生（神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科教授）

網野武博先生（上智大学文学部社会福祉学科教授）

永瀬伸子先生（お茶の水女子大学大学院人間文化研究科助教授）

駒村康平先生（東洋大学経済学部助教授）

【進行予定】

- 14：00～14：10 開会の挨拶及び序章の要旨説明（島崎）  
14：10～14：30 第4. 5. 6. 7 執筆者要旨報告（大石）  
14：30～15：00 コメント（永瀬先生他）  
15：00～15：05 第10 執筆者要旨報告（阿部正浩）  
15：05～15：30 コメント（駒村先生他）  
16：00～16：20 第1. 2. 3. 8 執筆者要旨報告（大石、勝又、島崎、千年）  
16：20～17：20 第9. 11 執筆者要旨報告（新保、本庄）  
17：20～17：40 コメント（網野先生他）  
17：40～18：00 全体討論 参加者全員参加による討論  
18：00 閉会挨拶（島崎）  
18：00～ 懇談（執筆者と討論者のみ）

【各討論者コメント分担】（注）

山崎泰彦先生（序章. 1. 2. 3. 8）

駒村康平先生によるコメント（序章. 6. 7. 10）

永瀬伸子先生によるコメント（序章. 4. 5. 6. 7）

網野武博先生によるコメント（序章. 9. 11）